

# 平成29年度事業報告

## 法人の概況

### 1 名称

公益財団法人福島県文化振興財団

### 2 設立年月日

昭和45年8月1日（公益法人移行登記 平成26年4月1日）

### 3 目的（定款第3条）

この法人は、福島県の芸術文化の振興及び文化財等の調査研究、保存、活用等を図り、もって県民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的とする。

### 4 事業（定款第4条・第5条）

#### （1）公益目的事業（定款第4条）

- （ア） 文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術文化に関する事業
- （イ） 文書、考古、民俗等の歴史資料の収集、研究、整理、保管及び展示等の事業
- （ウ） 埋蔵文化財の調査、研究、整理及び保存などの事業
- （エ） 文化財保護の教育普及並びに文化財の展示、保管及び研修に関する事業
- （オ） 文化活動に関する助成及び顕彰に関する事業
- （カ） その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### （2）その他の事業（定款第5条）

- （ア） 公益目的事業以外の施設貸与に関する事業
- （イ） 物品の販売等に関する事業
- （ウ） その他この法人の公益目的事業の推進に資する事業

### 5 主たる事務所

福島市春日町5番54号

### 6 従たる事務所

白河市白坂一里段86番地

### 7 役員等に関する事項

評議員 9名 安齋睦男 五十嵐乃里枝 懸田弘訓 小松信之 齋藤美保子 澤田 修  
新妻香織 馬目順一 安田清敏

理事 12名 理事長 杉 昭重 副理事長 菊池徹夫 専務理事 大江孝治  
小野利廣 金子市夫 新城猪之吉 須佐由起子 高城俊春 高萩阿都志  
平田公子 山口哲子 渡邊和裕

監事 2名 齋藤 忠 芳賀 裕

### 8 職員に関する事項

正規職員52名 派遣職員3名 出向職員2名 嘱託職員10名 計67名

9 役員会等に関する事項

開催日・場所	内 容	出席状況
第1回理事会 6月5日(月) とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター)	職務執行状況報告 決議事項 第1号 平成28年度事業報告承認の件 第2号 平成28年度計算書類等承認の件 第3号 評議員会招集の件 *監査報告 平成29年5月26日	理事12名中 8名出席 監事2名中 2名出席
第2回理事会 6月26日(月)	決議事項 第1号 専務理事選定の件 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第36条の規定に基づくみなし決議	/
第3回理事会 平成30年3月23日(金) ザ・セレクトン福島	職務執行状況報告 決議事項 第1号 平成29年度補正予算の件 第2号 平成30年度事業計画の件 第3号 平成30年度予算の件 第4号 平成30年度資金調達及び設備投資の件 報告事項 第1号 規程改定の件	理事12名中 12名出席 監事2名中 1名出席
定時評議員会 6月26日(月) ザ・セレクトン福島	報告事項 第1号 平成28年度事業報告等の件 決議事項 第1号 平成28年度計算書類等承認の件 第2号 定款及び規則の変更の件 第3号 評議員及び役員を選任の件	評議員9名中 7名出席 理事12名中 3名出席 監事2名中 2名出席

10 外部監査等

福島県監査委員会 財政的援助団体等団体監査 実施日 11月22日(水)  
(事務局調査 実施日 9月21日(木))

11 重要な契約に関する事項

「福島県文化センターの管理に関する平成29年度協定」(福島県)  
「福島県文化財センター白河館の管理に関する平成29年度協定」(福島県教育委員会)  
「埋蔵文化財発掘調査委託契約」(福島県教育委員会)

借入金、資産の売却等の事項はありません。

12 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の推移 (単位; 千円)

事業年度	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
前期繰越収支差額	16,150	△13,341	△6,561
当期収支差額	△29,491	6,780	△1,076
次期繰越収支差額	△13,341	△6,561	△7,637
資産合計	2,097,325	2,096,444	2,143,094
負債合計	545,506	520,967	543,272
正味財産	1,551,819	1,575,477	1,599,822

## 事業の概況

### I 公益目的事業

#### 公1 芸術文化に関する主催公演の開催、文化施設の貸与、歴史資料の収蔵・展示等を通じた文化振興事業

##### 1 芸術文化振興事業

本県の文化振興及び震災からの復興に資するため、平成24年度から取り組んできたふくしま文化復興事業の内容充実に努めるとともに、舞台芸術鑑賞事業を実施しました。

##### (1) ふくしま文化復興事業

###### (ア) キッズシアター

子どもの感性や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにすることを目的とし、開催地教育委員会等との共催により、子どもたちが楽しめる良質な演劇公演を実施しました。

実施期間 6月6日(火)～7月13日(木) 開催地 会津若松市ほか5市4町 16公演

###### (イ) 子どもの芸術文化体験事業

復興を担う子どもたちの健全な育成に資するため、当財団が実行委員会を立ち上げ文化庁からの委託を受け、多くのジャンルのアーティストを県内の幼稚園や学校等に派遣しました。

派遣事業／実施期間 7月13日(木)～平成30年2月6日(火) 6ジャンル

22プログラム

###### (ウ) 歴史再発見事業

被災地の歴史と伝統文化を見直す機運を創出し、ふくしまの復興に資することを目的に、遺跡発掘調査の現地見学ツアー及び復興調査の歩みとその成果について文化財講演会を実施しました。

a 歴史再発見ツアー 実施日 8月10日(木) 県中コース・11日(金) 南相馬コース

場所 県中コース／須賀川市高木遺跡、須賀川市歴史民俗資料館ほか

南相馬コース／桶師屋遺跡、南相馬市博物館ほか

b 歴史再発見講演会 実施日 平成30年1月21日(土) 場所 2階会議室

###### (エ) 復興共催事業

文化芸術によるふくしまの復興を目的に、著名アーティストの公演等を地元の報道機関等との共催により実施しました。

a ウルトラン展 実施期間 8月9日(水)～8月27日(日)

b coba tour 2017 25周年記念 実施日 8月27日(日)

c GLAY HALL TOUR2017 実施日 10月11日(水)

d 東京交響楽団演奏会 実施日 11月5日(日)

e フォレスタ コンサート in 福島 実施日 11月15日(水)

f 日本のアニメーション美術の創造者山本二三展

実施期間 12月6日(水)～平成30年1月28日(日)

g 沢田研二50周年記念LIVE2017～2018 実施日 12月19日(火)

h Kバレエカンパニー「くるみ割り人形」 実施日 12月26日(火)

i めざましクラシックス in 福島 実施日 平成30年2月24日(土)

(2) 舞台芸術等鑑賞事業

(ア) 古典劇場

日本古来の伝統芸能の継承・普及を目的に、狂言公演を実施しました。

a 狂言公演

実施日 11月2日(木) 場所 大ホール 1回公演

b 狂言セミナー

実施日 9月27日(水) 場所 2階会議室

(イ) 映画鑑賞事業

a 子ども映画会

子どもたちの健全な育成を目的に、学校の夏休み期間中に子ども向けのアニメーション作品等の映画を上映いたしました。

実施日 7月21日(金)・28日(金)、8月3日(木) 場所 小ホール

b 名作シネマ

優れた映画の鑑賞機会を提供し、映画鑑賞人口の増加と、映像文化の振興を図ることを目的として、文化庁優秀映画鑑賞推進事業を利用し、歴史に残る名画を上映しました。

実施日 平成30年1月30日(火)・31日(水) 場所 小ホール

(ウ) 文化センター感謝祭

文化センター改修工事に伴う長期休館により、ご不便をお掛けした事に対するお詫びと日頃の感謝の意を込めて、福島にゆかりのあるアーティスト等による大人から子どもまで楽しめる3公演及び式典を開催いたしました。

a 感謝祭コンサート

実施日 10月9日(月・祝) 場所 大ホール

b 感謝祭子どもまつり

実施日 10月14日(土) 場所 2階会議室

c 感謝祭プレイベント

実施日 6月10日(土) 場所 小ホール

(3) 共催事業

(ア) 第71回福島県総合美術展覧会 実施日 6月16日(金)～25日(日)

主催 福島県他 場所 2階・3階展示室

(イ) ファミリーシアター 実施日 9月11日(月)～13日(水)

主催 公益社団法人日本児童青少年演劇協会他 開催地 猪苗代町ほか2町

(ウ) おかあさんといっしょファミリーコンサート 実施日 11月25日(土)

主催 NHK福島放送局 場所 大ホール

(4) 後援事業

本県の文化活性化のため、関係機関・文化団体・報道機関等からの申請により後援しました。 3件

2 福島県文化センター関係事業

福島県文化センターの指定管理者として、福島県との基本協定、年度協定に基づき下記施設の管理運営の業務を行いました。

また、大ホールは空調設備改修工事のため、平成28年12月1日から平成29年9月30日まで利用休止となりました。

(1) 受託施設

施設名	敷地面積	延面積	建築面積
福島県文化会館	26,525㎡	9,826㎡	5,157㎡
福島県歴史資料館		1,612㎡	749㎡

(2) 年間利用者数及び利用料金収入

施設名	利用者数 (目標値)	利用料金収入額 (目標値)
福島県文化会館	262,526名 (270,000名)	522件 43,242,098円 (39,000,000円)
福島県歴史資料館	16,249名 (15,000名)	—

(3) 福島県文化会館関係事業

条例に掲げられた設置目的に基づき、多くの県民が集い、日常的に芸術文化とのふれあいを持つことができる、県民本位、利用者本位の開かれた施設を目指し、その機能が十分に発揮できるよう施設の管理運営にあたりました。

また、県の空調設備改修工事等が円滑に進むように、工事業者の入退館の管理や工程会議等に対応しました。

(ア) 施設及び設備の使用許可に関する業務

a メンテナンス日を除いた年間開館日数は350日となりました。利用時間は午前8時30分から午後10時までとして、時間外についても柔軟に対応しました。

b 利用者総数 262,526名 (対前年度 92.9%)

館内利用者数 232,795名

窓口利用者数 10,267名

館外利用者数 19,464名 (館外で実施した芸術文化振興事業の参加者数)

(イ) 利用料金の徴収、免除の決定に関する業務

a 利用料金収入額 43,242,098円 (対前年度 104.6%) 利用件数 522件

(うち公益目的事業 29,799,385円 利用件数 154件)

- b 利用料金の免除 県との協議により利用料金の免除基準を定めて実施しました。  
免除件数 138件 免除額 17,241,887円
  - c 利用料金後納制を継続して行い、利用者の負担軽減を図りました。
- (ウ) 施設の使用に関する支援業務
- a 会場下見や打ち合わせを入念に行い、利用者が安心して本番を迎えられるように努めました。
  - b 夜間・早朝利用など利用者の要望に臨機応変に対応し、行事がスムーズに進行するように支援しました。
- (エ) 施設及び設備の維持管理
- a 施設・設備の日常点検及び専門業者による定期点検を実施し、不具合報告等がされた軽微な建築設備関係の修繕を行い、事故防止に努めました。
  - b 老朽化している施設・設備の営繕工事及び備品等の更新を設置者へ要望しました。
  - c ネーミングライツの導入により県が購入した舞台設備関連備品の平台や大型液晶ビデオプロジェクターを利用に供し、適正に管理を行いました。
  - d 工事休館を利用して、開館時には実施できない貸出物品等の点検を行いました。
- (オ) アートマネジメントに関する業務
- a 文化イベントの企画立案から運営まで利用者の要望に応じて支援しました。
  - b 全国や東北地区の公立文化施設との連携による文化事業の実施に取り組むとともに、県内の公立文化施設の取りまとめ館として研修会の実施や文化事業に関する連携、情報提供を行いました。
  - c 文化会館の壁面等のスペースを活用して作品発表の場を提供しました。
  - d 他機関からの要望に応じて、優れた舞台芸術や実演家を紹介し、文化事業のコーディネート活動を実施しました。
- (カ) 文化情報の発信
- a ホームページによる情報発信  
イベント情報の案内として、文化センターで開催される催事を紹介する「催し物案内」と東日本大震災からの復興に資する「ふくしま文化復興事業」、財団の「主催事業」、報道機関等との「共催事業」に分けて分かりやすく掲載しました。
  - b メールマガジンの発行  
メールマガジンでは、文化センターの催し物案内のほか、県内にイベント情報の配信サービスを無料で提供しました。メールマガジン登録者数は、1,194名（平成30年3月末現在）となりました。

(キ) 県内イベント情報の提供

県内の文化施設や文化団体、行事の主催者から集めた文化イベント情報をホームページに掲載しました。情報は音楽、演劇・舞台、展示、自主上映、講演・講座、その他のジャンルに分けて掲載し、利用者が検索しやすい構成にしました。

また、文化情報誌に掲載しきれない情報については、ホームページで情報提供を行いました。ホームページの年間アクセス数は、131,276件（平成30年3月末現在 対前年度169.4%）となりました。

(ク) 文化情報の機関誌の発行

a 本県文化に関する県民の理解を深め、積極的な文化活動への参加を促すことを目的として、文化情報誌『ふくしま文化情報』を発行しました。

b 本県の文化活動を支援するため、様々な文化情報を掲載し、読み易い紙面づくりを心がけました。また、ネーミングライツの導入により、協力金融機関の各店舗への配布が可能となったため、毎回の発行部数を6,000部から6,500部に増刷（11月発行より）してより多くの方が入手できるように努めました。

発行回数 年10回 4月～10月 発行部数 6,000部（7・8月合併号は6,500部）

11月～3月 発行部数 6,500部（1・2月合併号は7,000部）

配布先 市町村、学校、文化施設、文化団体、報道機関、イベント事業者、交通機関、飲食店、病院、金融機関等

(ケ) 指定管理者としての創意工夫

a 館内にアンケートボックスを設置しているほか、催事主催者にもアンケートを実施し、軽微な事項は直ぐに対応しました。また、施設構造上の問題等に関する事は、優先順位をつけて県に改修の要望をいたしました。

b 文化会館と歴史資料館の月間の催し物予定を文化情報誌『ふくしま文化情報』に掲載し、県内文化施設や駅、観光スポット等に配布して文化センターの催し物の広報に努めました。

c 福島駅周辺の地下道に文化センター催し物案内を掲示し広報に努めました。

d 県内の文化施設や文化団体等から収集した催事のリーフレットやポスター、チラシを、地域ごとに分類して来館者に提供しました。

e 古典劇場「狂言公演」の開催に当たって、インターネットによるチケット販売を実施して利便性向上を図りました。

f 福島県文化会館内に財団情報コーナーを設置し、財団の事業活動の周知及び福島県歴史資料館、福島県文化財センター白河館の来館者増に努めました。

g インターシップに賛同し、実施プログラムを提案いたしました。

h 芸術文化振興事業の運営に携わるボランティアを募集し、文化センター感謝祭プレイベント、文化センター感謝祭コンサート、古典劇場「狂言公演」事業参加の際に、入場受付、チケットもぎり、客席案内等の補助を実施しました。

#### (4) 福島県歴史資料館関係事業

指定管理者として、福島県との基本協定、年度協定に基づき、歴史資料の収蔵・展示・講習会などを通じた文化振興事業を実施しました。

11月から平成30年2月まで県による空調設備工事が行われ、新たな設備が設置されました。福島県歴史資料館の年間開館日数は343日となりました。

#### (ア) 県に関する文書資料、考古資料、民俗資料その他の歴史資料の収集、整理、保管及び展示に関すること

##### a 県内外諸家文書の収集等

資料調査の依頼を受け、個人蔵の資料調査を行いました。また、市町村が新たに刊行した自治体史や資料目録などから資料所在情報の把握に努めました。

佐藤秀明家文書を返却し、國分泰雄家資料を受け入れたため、収蔵総数は、行政文書の簿冊48,876冊を含めて254,015点（平成30年3月末現在）となりました。

##### b 資料整理業務

福島県の歴史に関係する行政文書・古文書などの資料のクリーニング、補修、一覧作成など、約3,000点の歴史資料を整理しました。

##### c 展示公開業務

###### ① 「檜枝岐村文書の世界」 実施期間 4月22日（土）～7月30日（日）

檜枝岐村村政独立100周年に合わせ、当館に寄託されている史料の中から江戸時代から明治初期にかけての史料を展示し、山村集落の景観や生業などについてわかりやすく紹介しました。

###### ② 「奥会津の古文書―長谷部家文書の魅力―」

実施期間 9月9日（土）～12月24日（日）

只見線復旧を支援する展示の第1弾として、県の重要文化財に指定されている只見町叶津村の名主文書である「長谷部家文書」を取り上げ、山村での暮らしや戊辰戦争時の様子などを紹介しました。

###### ③ 「新公開史料展」 実施期間 平成30年1月20日（土）～3月18日（日）

収蔵資料目録第48集で公開した石母田村の地方文書である「佐藤五兵衛家文書」を展示し、幕末の戊辰戦争時の状況を窺い知ることのできる史料などを紹介しました。

##### d 歴史資料館収蔵資料の公開

① 未公開であった収蔵資料を整理し、その目録を作成し、『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第49集として公開しました。

② 収蔵資料目録デジタル化の一環として、「明治期地籍図・地籍帳・丈量帳」の小字別検索目録の作成を継続し、新たに安積郡・石川郡・岩瀬郡の目録をホームページ上で公開しました。

③ 資料閲覧や写真掲載希望などへの対応業務を日常的に実施しました。

④ ホームページの年間アクセス数は、11,398件（平成30年3月末現在 前年比75%）となりました。

- (イ) 歴史資料に関する専門的又は技術的調査研究に関すること
- a 歴史資料の情報、収蔵資料の紹介、歴史資料の調査研究成果などを『福島県史料情報』として、第48号から50号まで3回刊行し、県・市町村をはじめとする関係機関に配布しました。
  - b 展示公開などに資するため、収蔵資料の調査・研究を行い、その成果を収蔵資料展や『福島県史料情報』などに活用しました。
- (ウ) 歴史資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会などの主催及びその開催の援助に関すること
- a 古文書講座の開催  
歴史資料の利用促進を図るため、希望者を対象とした古文書講座を開講しました。「檜枝岐村文書を読み解く」をテーマに4回開講しました。
  - b 市町村史編纂に対する協力・援助  
福島市史・相馬市史・原町市史・三島町史などの市町村史編纂に対する協力・援助を行いました。
  - c 市町村の生涯学習・歴史講座等への協力  
市町村や生涯学習団体などが実施する学習会・講習会などに講師を派遣し、その開催を支援しました。
  - d 講演会・講習会・研究会  
11月11日（土）に、福島県文化センター2階会議室で白水智中央学院大学教授・渡部賢史只見町教育委員会主査・当財団学芸員3名の講師による地域史研究講習会を開催しました。
  - e 映写会  
下記の記録映像をそれぞれ上映しました。  
第1回 「森のくらし 第2章 曲物」「世界遺産石見銀山遺跡とその文化的背景」「イアンカラプテ こんにちはアイヌ文化」  
第2回 「南相馬の炭焼き」「森のくらし 第8章 野鍛冶」「うつわ—食器の文化—」  
第3回 「東北の電気物語シリーズ 鬼の河・福島編」「美濃紙の道具づくり」「狂言師・三宅藤九郎」
- (エ) 提案によるその他の事業等
- a 大学の学芸員養成課程の博物館実習を実施しました。
  - b 「福島県歴史資料館友の会」の活動を支援しました。  
(平成30年3月末現在の会員数110名)
  - c 災害時にともなう歴史資料の散逸を防ぐため、「福島県被災文化財等救援本部」「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」の活動を支援しました。
  - d 他館と連携して以下の事業を実施しました。
    - ① 9月23日（土）から12月10日（日）にかけて福島県立博物館で実施した「檜枝岐村文書の世界」の移動展に協力（共催）しました。

② 平成30年1月5日（金）から2月12日（月）の会期で福島県立図書館において「檜枝岐村文書の世界」の移動展を開き、平成30年1月28日（日）の関連講演会に講師を派遣しました。

e 温湿度が不安定な収蔵環境を適宜補正し、文書庫および収蔵庫の害虫モニタリング調査を実施しました。

(オ) その他

a 空調工事実施前には、大型除湿機・サーキュレーターなどを併用し、文書庫・収蔵庫・展示室の湿度上昇を抑え、収蔵・展示環境悪化の低減に努めました。また、閲覧室には窓用エアコン・大型除湿機などを用い、資料閲覧者のアメニティーの確保に努めました。

b 空調工事実施中の地籍図・地籍帳・丈量帳の資料閲覧等は、文化センター職員研修室等で対応し、県民サービスの維持に努めました。

## 公2 遺跡発掘調査及び出土文化財の劣化防止処理、文化財保護の教育普及を目的とした講演会や体験学習及び文化財の展示等の文化財保護事業

### 1 埋蔵文化財関係事業

#### (1) 埋蔵文化財調査

福島県教育委員会からの委託を受け、開発に伴う遺跡の記録保存のため、分布調査、発掘調査を行い、報告書を作成するとともに、市町村埋蔵文化財調査への技術協力を実施しました。

また、各事業に関する連絡・調整・進行管理及び庶務・経理事務などを行いました。

#### (ア) 遺跡分布調査事業

a 分布調査	2事業	45,000m <sup>2</sup>
b 試掘・確認調査	6事業	127,000m <sup>2</sup>
c 調査報告書刊行	1冊	

#### (イ) 遺跡発掘調査事業

a 発掘調査事業	4事業	29,500m <sup>2</sup>
b 調査報告書刊行	5冊	

#### (ウ) 県内市町村埋蔵文化財調査への技術協力事業 1市4町3村 延べ13事業

#### (2) 文化財センター整備業務

福島県教育委員会からの委託を受け、出土品の保管管理、整理・梱包・搬送、文化財データベースの入力作業などを行いました。

#### (ア) 出土品などの保管管理業務

出土品のうち、大猿田遺跡<sup>おおさんだ</sup>などの木質・金属質遺物等6,065件の管理及び劣化防止処置と大森遺跡<sup>おおもり</sup>などの遺物202件の保存処理、師山遺跡<sup>もろやま</sup>などの遺物500件の点検、合計6,767件の出土品の管理などの業務を行いました。

#### (イ) 出土品の整理・梱包・搬送などの業務

報告書の作成が完了した出土品など（阿賀川改修遺跡発掘調査<sup>あががわ</sup> 小田高原遺跡<sup>おだこうら</sup>など）938箱の資料を整理し、福島市から福島県文化財センター白河館へ搬送しました。

#### (ウ) 文化財データ入力業務

平成26年度発行報告書4冊分（会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告書<sup>あいつじゆんくわんきたうぢ</sup> 桜町遺跡<sup>さくらまち</sup>など）の遺物・写真などの文化財データを作成しました。

## 2 福島県文化財センター白河館関係事業

福島県文化財センター白河館の指定管理者として、福島県教育委員会との基本協定及び年度協定に基づき、下記施設の管理運営を行いました。

### (1) 施設管理業務

#### (ア) 受託施設

敷地面積	51,794.00 m <sup>2</sup>
本館棟	2,337.73 m <sup>2</sup>
収蔵庫棟	3,052.86 m <sup>2</sup>
体験学習館	89.43 m <sup>2</sup>
野外展示施設	縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の米倉、平安時代の製鉄炉、室町時代の館

福島県文化財センター白河館は、開館から16年を経過し、施設・設備の老朽化が進んでいます。このため、適宜修繕を加えながら維持管理を行い、大規模修繕が必要なものについては、施設設置者である県に対して修繕要望を提出してきました。平成29年度は、県施工による自動制御監視装置更新工事が実施されました。

#### (イ) 開館日数

開館日数 311日（前年度 311日）

#### (ウ) 利用状況

総利用者数 34,462名（対前年度 97.9%）

入館者数 28,102名（対前年度 95.8%）（目標値 29,500名）

館外利用者数 ※6,360名（対前年度 108.2%）

※移動展、館外文化財研修、おでかけまほろん等

入館者数の地域別利用者状況

県内 23,747名（全体の84.5%）

県外 4,355名

入館者数の年齢層別利用状況

高校生以下 11,488名（全体の40.9%）

一般 16,614名

入館者数のうち団体利用 7,585名（全体の27.0%）

9月2日には開館以来の入館者数50万人を迎え、11月18日・19日に、「ありがとう50万人！まほろん大感謝祭」を実施しました。

### (2) 文化財の収蔵・保管及び活用に関する業務

#### (ア) 考古資料、考古資料以外の文化財及び文化財に関する資料の収蔵・保管

県教育委員会から搬入された総計51,943箱の出土品や写真・図面等の資料を収蔵・保管するとともに、館外への貸し出しや館内の資料閲覧、見学等の対応を行いました。

(イ) 考古資料、考古資料以外の文化財及び文化財に関する資料の展示

- a 常設展示室では、「暮らしのうつりかわり」コーナーの展示品を入れ替えました。「話題の遺跡」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」コーナーについては、県内自治体と連携して5～8回の展示替えを行い、特に冬季に行った「戊辰戦争と考古学」の展示は注目を集めました。また、新たに「重要文化財公開」コーナーと「土器年代測定結果公開」コーナーを設け、それぞれ5回以上の展示替えを行いました。
- b 特別展示室では、収蔵資料展「縄文土器の年代Ⅱ－縄文中期の世界に迫る－（後期展示）」を開催し、多くの縄文土器を公開しました。あわせて、放射性炭素年代測定と炭素・窒素安定同位体比分析の結果も公開しました。

ふくしま復興展1「編む・組む・削る－植物利用の技術史－」では、震災以降、急速に失われつつある植物素材の編組技術に着目し、その変遷を明らかにし、再現実験の成果を紹介しました。

指定文化財展「はにわ行進曲」では、本宮市天王壇古墳出土品（県指定重要文化財）をはじめ、県内各地で出土した埴輪を、子どもにもわかりやすい内容で紹介しました。

ふくしま復興展2「被災地の文化財－双葉高校史学部の歩み－」では、双葉地方の地域史解明に大きく貢献してきた県立双葉高校史学部の足跡を紹介しました。

(ウ) 文化財に関する講演会等の開催

- a 館長講演会は、シリーズ「進展する考古学」と題して、5回実施しました。
- b 企画展の内容に関連するテーマを中心に、文化財講演会・講座を8回開催しました。

(エ) 文化財等を活用した体験学習の実施

- a 勾玉づくり、火おこしなどの常時体験型体験学習、土器づくりなどの募集型体験学習のほか、「おでかけまほろん」等の館外体験学習を行いました。
- b まほろん森の塾では、小・中学生の塾生が古代の技術や埴輪の意味などを学び、その学習成果を展示に反映させました。
- c 「ゴールデンウィークまほろんまつり」「野外展示と植物の見学会（夏・秋）」「まほろん大感謝祭」などの体験イベントを年6回（延べ9日間）開催しました。

(オ) 文化財に関する情報発信

- a ホームページ等を利用して白河館の業務に関する情報や県内の文化財情報、文化財データベース等の情報を発信しました。

ホームページの年間アクセス数は、46,602件（対前年度97.1%）となりました。

- b 『まほろん通信』を年4回各4,000部発行し、県内の学校や県内外の教育機関・文化施設等へ配布しました。

(カ) 文化財に関する調査、研究を担当する市町村等の職員の研修

文化財を担当する市町村の職員等を対象として、基礎・専門・特別の3つの研修区分により、文化財の保護・活用技術や関連科学等の研修を行い、333名が受講しました。

(キ) 考古資料の保管及び文化財の保存・活用に関する専門的又は技術的な調査研究

- a 収蔵資料に付着した炭化物を用い、放射性炭素年代測定と炭素・窒素安定同位体比分析を行いました。

b まほろん収蔵資料の放射性炭素年代測定結果報告（平成 29 年度分）」等を収録した『研究紀要 2017』を発行しました。

(ク) その他の事業

a ボランティアの運営

登録ボランティア 21 名により、展示解説補助のほか、縄文時代の家及び奈良時代の家の燻蒸補助、文化財研修や体験イベントの開催補助などを行いました。

b 年報の発行

白河館運営に係る平成 28 年度の実績をまとめた『年報 2017』を発行しました。

c 博物館実習の実施

学芸員課程を履修する大学生を対象として博物館実習生を公募し、館内での実習を実施しました。

実施期間 9月12日（火）～16日（土） 5日間 実習生 6名

d 運営協議会の開催

白河館の適正な管理運営を図るため、各分野の専門家による協議会を開催しました。

第1回 10月7日（土）

第2回 平成30年3月3日（土）

e 他機関との連携

社会教育施設等と連携して、以下の事業を実施しました。

① 福島県立図書館との連携

まほろん移動展「縄文土器の年代Ⅱ－縄文中期の世界に迫る－」

実施期間 6月2日（金）～7月5日（水） 場所 福島県立図書館

移動図書館（あづま号）コーナー設置

実施日 2月18日（日）（まほろん冬まつり） 場所 白河館正面玄関前

② ふくしま歴史資料保存ネットワークとの連携

シンポジウム「ふくしまの未来へ、つなぐ、つたえる－歴史・文化・震災遺産の保全と活用のいま－」

実施日 6月17日（土） 場所 郡山市民プラザ

③ ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）との連携

移動水族館（アクアラバン）開催

実施日 11月18日（土）・19日（日）（まほろん大感謝祭）

場所 白河館体験広場

④ 国立那須甲子青少年自然の家・国立磐梯青少年交流の家と連携し、イベント実施時に相互に体験ブースを設置

### 公3 地域文化の振興を図るための助成及び顕彰事業

#### 1 助成・顕彰事業

##### (1) 助成事業

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人又は文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の振興に寄与することを目的として実施しました。

##### (ア) 助成件数 77件

###### 【部門別内訳】

a	成果発表事業	56件
b	発表会等への参加事業	3件
c	文化団体への事業費	5件
d	特認事業	1件
e	文化財の保護事業	8件
f	文化振興による地域づくり事業	2件
g	伝統文化の保存・継承・発展事業	2件

##### (イ) 助成金総額 12,597,813円

##### (2) 顕彰事業

本県文化の普及、向上、保存及び伝承に貢献した個人を顕彰しました。

##### (ア) 表彰式 実施日 平成30年2月1日(木) 場所 2階会議室

##### (イ) 件数 3件(3個人)

部門	種別	氏名(雅号)	住所
総合	個人	鎌田 博喜	本宮市
音楽(詩吟)	個人	高橋 稔(高橋岳洲)	福島市
文学(川柳)	個人	駒木 一枝(駒木香苑)	白河市

### 公4 本県復興に資するための文化振興事業

#### 1 被災ミュージアム再興事業

福島県教育委員会からの委託により、原発事故に伴う避難指示区域に指定された双葉町・大熊町・富岡町の資料館から搬出した文化財について、福島県文化財センター白河館敷地内の仮保管施設において、資料保全作業のほか、写真撮影、目録作成などを行いました。

## II 収益事業

### 収1 公益目的事業以外の施設貸与に関する事業

#### 1 福島県文化会館の施設貸与

公益目的事業以外についても福島県文化会館の施設・設備の貸出しを行い、施設の有効活用を図りました。これによる利用料金収入は368件 13,442,713円となりました。

### 収2 物品の販売等に関する事業

#### 1 物品の販売等に関する事業

##### (1) 福島県文化会館関連事業

来館者の利便を図るため、チケットの受託販売、自動販売機による飲料販売、軽食・弁当販売等を行いました。

##### (2) 福島県文化財センター白河館関連事業

勾玉等の体験学習用の材料販売、企画展に合わせたオリジナル商品の開発を行い、販売しました。

## 平成29年度事業報告附属明細書

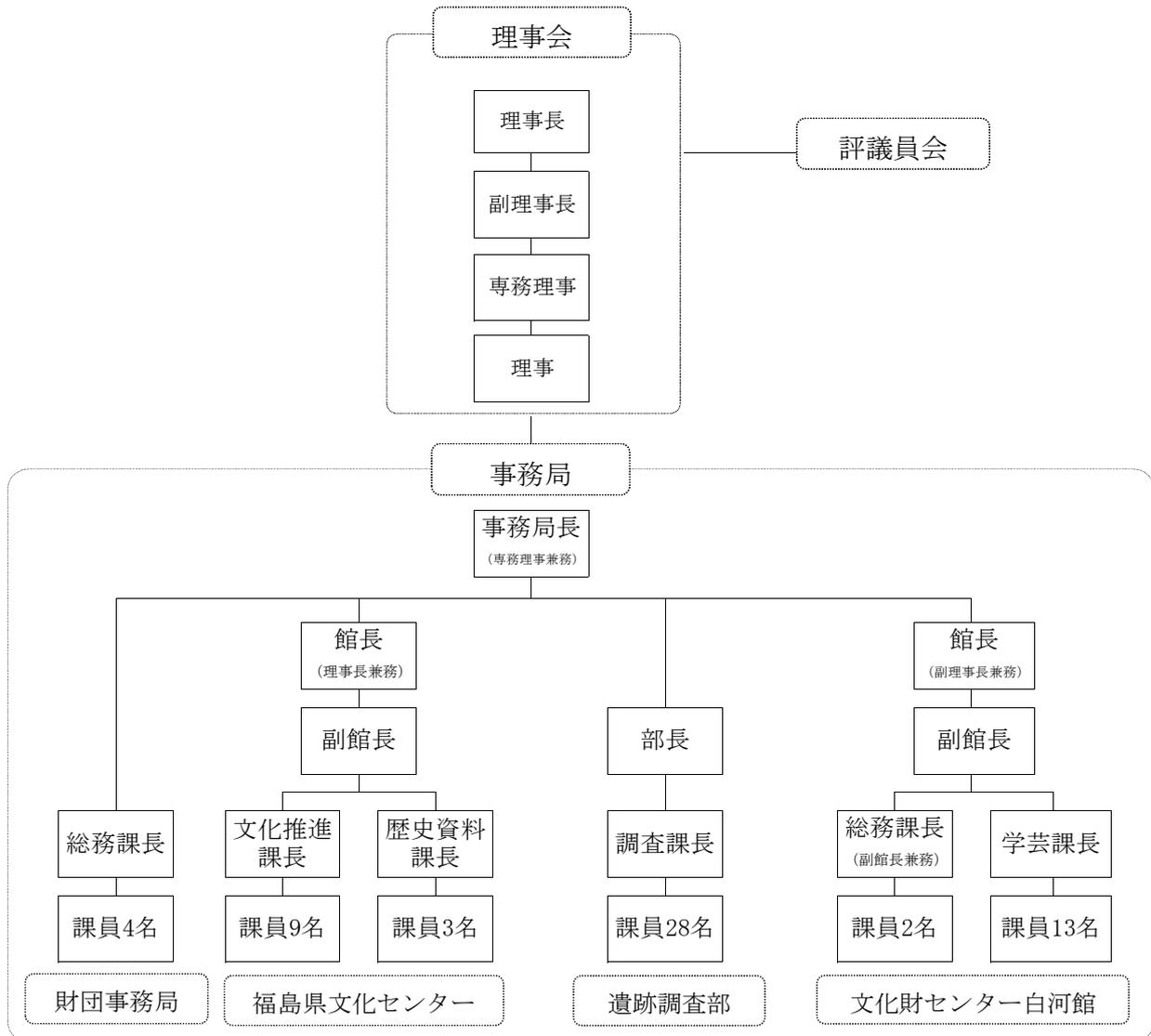
### 法人の概況関係

#### 1 役員名簿

	氏 名	職
評議員	安齋睦男	福島県企画調整部文化スポーツ局長
	五十嵐乃里枝	一般社団法人会津自然エネルギー機構代表理事
	懸田弘訓	福島県文化財保護審議会委員
	小松信之	福島県市長会常務理事兼事務局長
	齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部副学長
	澤田 修	企業組合劇団風の子東北代表理事
	新妻香織	NPO法人フー太郎の森基金理事長
	馬目順一	いわき市教育委員会教育長職務代理者
	安田清敏	福島県町村会事務局長
理事長	杉 昭重	福島県文化センター館長
副理事長	菊池徹夫	福島県文化財センター白河館長 早稲田大学名誉教授
専務理事	大江孝治	事務局長
理 事	小野利廣	福島県南土建工業株式会社代表取締役 白河地区経営者協会会長 一般社団法人福島県建設業協会会長
	金子市夫	福島県企画調整部文化スポーツ局次長
	新城猪之吉	末廣酒造株式会社代表取締役 福島県酒造組合会長 日本酒造組合中央会理事東北支部長
	須佐由起子	元福島県教育委員会委員長 一般財団法人脳神経疾患研究所理事
	高城俊春	元福島県教育委員会教育長 福島県芸術文化団体連合会会長 公益財団法人東邦銀行教育・文化財団理事長
	高萩阿都志	株式会社タイヘイドライバースクール代表取締役社長 いわき中央地区交通安全事業主会会長
	平田公子	国立大学法人福島大学名誉教授
	山口哲子	宇都宮文星短期大学名誉教授 特定非営利活動法人福島・伊達精神障害福祉会副理事長
	渡邊和裕	一般社団法人日本旅館協会副会長、東北支部連合会長 福島市観光コンベンション協会会長
監 事	齋藤 忠	公認会計士
	芳賀 裕	司法書士

2 組織及び職員数

平成30年3月31日現在



役員 3名 兼務役員（理事長・副理事長・専務理事）のみ \*うち県出身者2名

正規職員 52名 \*うち県への出向職員1名

派遣職員 3名

出向職員 2名

嘱託職員 10名

小計 67名

臨時職員 26名

計 96名

# 事業の概況関係

## 公1-1 芸術文化振興事業関係

	事業名	期日・開催場所	内容	入場者数	
(1) ふくしま文化復興事業	(ア) キッズシアター	開催日/6月6日(火)～7月13日(木) 対象/小学生 会場/県内5市4町(福島市・郡山市・須賀川市・白河市・会津若松市・国見町・川俣町・矢吹町・南会津町)  12日間、16公演を実施	子どもの感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにし、道徳的な意識や価値観を養うことを目的として、県内各地の教育委員会等との共催により、子供たちが楽しめる良質な演劇公演を実施しました。  演目/オペラ「森は生きている」 出演・制作/オペラシアターこんにやく座	参加学校数 123校  11,018名	
	(イ) 子どもの芸術文化体験事業	実施期間/7月13日(木)～平成30年2月6日(火) 実施回数/83回 派遣講師/延べ133名	福島県の復興を担う子どもたちの健全な育成に資するため、当財団が実行委員会を立ち上げ文化庁からの委託を受け、多くのジャンルのアーティストを県内の幼稚園や学校等に派遣しました。	8,411名	
	(ウ) 歴史再発見事業	歴史再発見ツアー 実施日/8月10日(木)・11日(金) 会場/＜県中コース＞ 高木遺跡・須賀川市歴史民俗資料館・大安場史跡公園(郡山市) ＜南相馬コース＞ 桶師屋遺跡・南相馬市博物館・羽山横穴(南相馬市)	親子対象による歴史再発見ツアーの遺跡発掘調査現地見学では、2コースを用意し、県土の歴史に触れる機会を提供しました。 県中コースでは、須賀川市歴史民俗資料館及び大安場史跡公園を見学し、南相馬コースでは南相馬市博物館及び羽山横穴等の見学を行いました。	35名	
		歴史再発見講演会 開催日/平成30年1月21日(土) 会場/2階会議室	文化庁文化財部記念物課の近江俊秀先生をお迎えし、「東日本大震災と埋蔵文化財保護」と題してご講演いただきました。他、事例報告(3例)。	120名	
	(エ) 復興共催事業	a ウルトラマン展	会期/8月9日(水)～27日(日)会場/3階展示室	主催/福島民友新聞社	8,780名
		b coba tour 2017 25周年記念	開催日/8月27日(日)会場/小ホール	主催/株式会社ニュースプロモーション	210名
		c GLAY HALL TOUR2017	開催日/10月11日(水)会場/大ホール	主催/株式会社キョードー東北	1,700名
		d 東京交響楽団演奏会	開催日/11月5日(日)会場/大ホール	主催/株式会社福島放送	500名
		e フォレストコンサート in 福島	開催日/11月15日(水)会場/大ホール	主催/株式会社ノースロード・ミュージック	800名
		f 日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	会期/12月6日(水)～平成30年1月28日(日) 会場/3階展示室	主催/福島民報社	16,765名
g 沢田研二50周年記念LIVE 2017～2018		開催日/12月19日(火)会場/大ホール	主催/株式会社ジーアイビー	1,500名	
h Kバレエカンパニー「くるみ割り人形」		開催日/12月26日(火)会場/大ホール	主催/株式会社テレビユー福島	1,700名	
i めざましクラシックス in 福島		開催日/平成30年2月24日(土)会場/大ホール	主催/福島テレビ株式会社	1,730名	
復興共催事業入場者数				36,784名	
(2) 舞台芸術等鑑賞事業	(ア) 古典劇場	a 「狂言公演」	開催日/11月2日(木) 会場/大ホール 対象/一般  出演/野村万作、野村萬斎、他 演目/「千鳥」「貰聲」 制作/アオイスタジオ株式会社	950名	
		b 狂言セミナー	開催日/9月27日(水) 会場/2階会議室  「狂言公演」に先駆け、狂言の基礎知識や上演演目の見どころなどをわかりやすく解説するセミナーを実施しました。  講師/内藤 連(万作の会狂言師)	64名	

	事業名	期日・開催場所	内 容	入場者数
(イ) 映画鑑賞事業	a 子ども映画会	開催日／7月21日(金)、7月28日(金)、 8月3日(木) 会場／小ホール 対象／幼・児童	子どもたちの豊かな情操教育と健全な余暇活動のため、学校の夏休み期間中に実施しました。 上映作品／「五味太郎作品シリーズ」「おれたち ともだち」「にしまきかやこ作品シリーズ」「みんなともだち」「ちびねこチョコビ」「ヒックとドラゴン」	421名
	b 名作シネマ	開催日／1月30日(火)・31日(水) 会場／小ホール 対象／一般	映画人口の増加と映像文化の振興を目的とする文化庁の優秀映画鑑賞推進事業を利用し、歴史に残る名画を上映しました。 上映作品／「伊豆の踊子」「時をかける少女」「野菊の墓」「ぼくらの七日間戦争」	390名
(ウ) 文化センター感謝祭	a 感謝祭コンサート	開催日／10月9日(月・祝) 会場／大ホール 対象／一般	文化センターの改修工事に伴う長期休館により、ご不便をお掛けした事に対するお詫びと日頃の感謝の意を込めて、福島にゆかりのあるアーティスト等によるコンサート及び式典を開催しました。 出演／遠藤千晶 他6名(箏曲演奏)・藤原道山(尺八)・佐藤通弘(津軽三味線)・吉見征樹(タブラ)	1,081名
	b 感謝祭子どもまつり	開催日／10月14日(土) 会場／2階会議室 対象／幼児・児童～一般	文化センター感謝祭子どもまつりとして、チカパンのバントマイムの公演と、たっちちゃん紙芝居公演のふたりのユニットを組んだ公演を実施しました。 出演／芹澤智香(バントマイム)・川上竜生(紙芝居)	128名
	c 感謝祭プレイベント	開催日／6月10日(土) 会場／小ホール 対象／一般	感謝祭プレイベントとして、福島市にサテライト校を置き、第63回全国高等学校演劇大会出場をへたした相馬農業高校飯館校演劇部の壮行会公演を開催しました。また、上演前に小高産業技術高校生徒出演のアニメーション「Our trajectory～きらめく未来へ～」を上映しました。 演目／「サテライト仮想劇-いつか、その日に、-」 出演・制作／相馬農業高校飯館校	188名
(3) 共催事業	(ア) 第71回福島県総合美術展覧会	開催日／6月16日(金)～25日(日) 会場／2・3階展示室	主催／福島県他	6,548名
	(イ) ファミリーシアター	開催日／9月11日(月)～13日(水) 対象／児童～一般 会場／猪苗代町、只見町、桑折町	主催／(公社)日本児童青少年演劇協会、 開催地教育委員会 演目／「赤ガラス大明神」 出演／劇団たんぼぼ	1,079名
	(ウ) おかあさんといっしょファミリーコンサート	開催日／11月25日(土) 会場／大ホール	主催／NHK福島放送局	3,099名
(4) 後援事業	「日中友好青少年書道展」	会期／4月8日(土)～15日(土) 会場／2階展示室	主催／福島民報社	
	第41回福島県書道連盟選抜展	会期／10月12日(木)～15日(日) 会場／3階展示室	主催／福島県書道連盟、福島県芸術文化団体連合会	
	第45回福島県写真展	会期／10月17日(火)～22日(日) 会場／3階展示室	主催／福島県写真連盟、福島県芸術文化団体連合会	

公1-2 福島県文化センター関係事業関係  
(1) 福島県文化会館利用者実績

(単位：人)

	大ホール	小ホール	視聴覚室	1F会議室	応接室	2F会議室	3F展示室	3Fギャラリー	小計	窓口利用者	館外利用者	合計	前年度
4月	0	3,546	393	215	0	1,306	8,288	0	13,748	398	0	14,146	19,849
5月	0	3,371	187	151	2	1,833	5,901	0	11,445	464	0	11,909	19,556
6月	0	4,241	441	245	0	6,659	6,865	6,659	25,110	374	10,697	36,181	45,160
7月	0	5,244	244	174	0	2,038	108	0	7,808	841	881	9,530	35,377
8月	0	4,293	283	67	7	1,054	9,152	0	14,856	1,264	632	16,752	38,470
9月	0	3,533	264	174	0	2,490	3,218	0	9,679	1,220	1,823	12,722	48,813
10月	25,838	3,589	88	101	0	1,265	7,283	0	38,164	1,159	1,548	40,871	30,140
11月	25,897	2,431	199	68	0	2,879	3,545	1,768	36,787	1,069	1,913	39,769	33,184
12月	15,533	2,448	201	75	0	1,491	6,301	0	26,049	1,317	915	28,281	2,498
30年1月	6,397	2,576	88	36	0	1,151	11,339	0	21,587	668	623	22,878	1,824
2月	8,094	1,789	179	95	0	814	1,011	0	11,982	765	432	13,179	1,187
3月	11,617	2,824	123	39	4	21	952	0	15,580	728	0	16,308	6,553
合計	93,376	39,885	2,690	1,440	13	23,001	63,963	8,427	232,795	10,267	19,464	262,526	282,611
前年度	139,829	20,081	2,041	1,159	55	23,529	49,880	8,710	245,284	10,964	26,363	282,611	

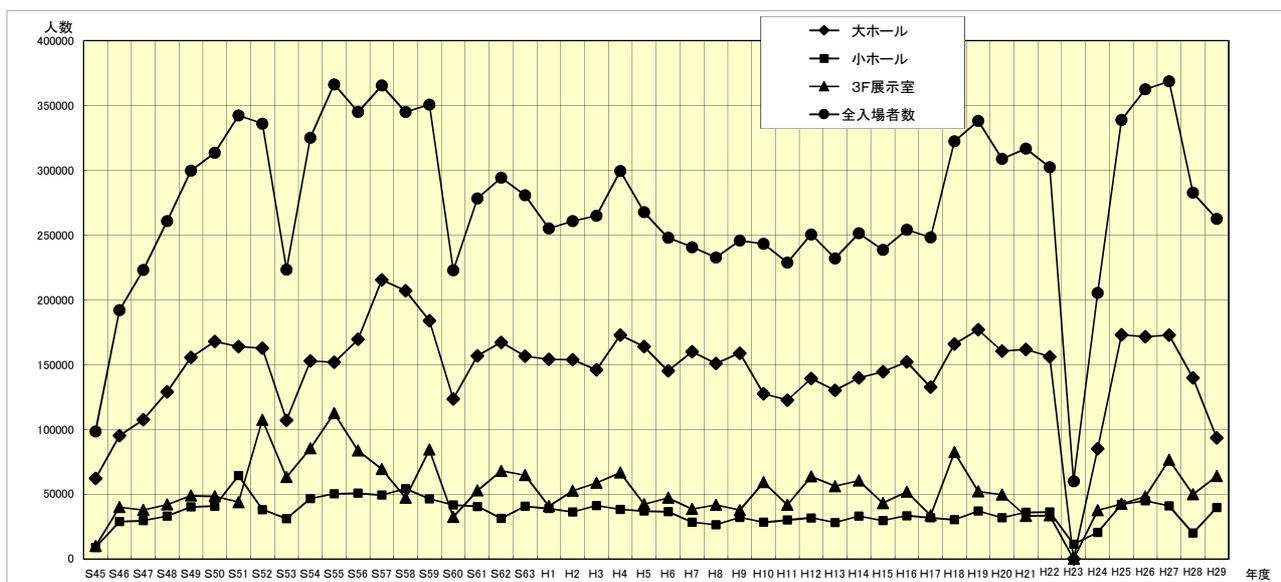
《備考》 \*窓口利用者とは、会館利用に関する事で来館された人数及びブレイガイド利用者数の合計  
\*館外利用者とは、館外で実施したふくしま文化復興事業の参加者数

(2) 文化会館稼働日数・稼働率

	大ホール	小ホール	視聴覚室	1F会議室	応接室	2F会議室	3F展示室	3Fギャラリー
稼働日数(日)	111	212	128	168	103	244	291	188
稼働率(%)	64%	61%	37%	48%	29%	70%	83%	54%
開館日数	173	350	350	350	350	350	350	350

※大ホールの空調設備改修工事による利用休止(4/1~9/30)のため、施設毎に開館日数を表示した。  
※稼働日数は施設利用のある日数  
※稼働率は稼働日数÷開館日数×100%で表わす

(3) 福島県文化会館利用者数推移



《注1》 \*平成20年度以降は、福島県文化会館利用状況に館外利用者数並びに窓口利用者数を加えた数である。

《注2》 \*平成29年度は、福島県文化会館利用状況の232,795人に窓口利用者数10,267人、館外利用者数19,464人を加えた262,526人である。

(4) 福島県歴史資料館利用者数 (単位：人)

	資料閲覧者	収蔵展入場者	館外利用者	講習会等受講者	合計	前年度
4月	114	210	0	0	324	343
5月	98	584	0	22	704	939
6月	102	537	40	20	699	848
7月	128	355	0	12	495	1,041
8月	124	0	0	100	224	1,687
9月	96	334	1,479	248	2,157	949
10月	106	615	3,962	23	4,706	858
11月	148	672	2,196	46	3,062	659
12月	90	459	299	8	856	80
30年1月	140	359	951	0	1,450	1,085
2月	143	499	331	16	989	672
3月	141	347	95	0	583	168
合計	1,430	4,971	9,353	495	16,249	9,329
前年度	1,118	5,783	1,736	692	9,329	

(5) 福島県歴史資料館利用状況

		件数	人数	点数	備考	
閲覧利用	地籍丈量帳	1,102	654	3,016		
	県庁文書	679	101	719		
	諸家寄託文書	208	166	1,766		
	図書文献	105	509	106		
	考古資料	0	0	0		
	民俗資料	0	0	0		
	写真・フィルム	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	小計	2,094	1,430	5,607		
貸出利用	諸家寄託文書	2	/	7	伊達市保原歴史文化資料館、東北歴史博物館	
	県庁文書	1		20	福島県議会資料室（複製）	
	県市町村史	0		0		
	図書文献	0		0		
	その他	1		27	福島県立博物館	
	小計	4		54		
事業	収蔵資料展	5	/	13,936	収蔵資料展、移動展（福島県立博物館、福島県立図書館） 団体利用3件63名（田村市船引公民館、喜多方市塩川公民館、八木田歩こう会） ギャラリートーク11件132名	
	講習会	1			46	地域史研究講習会
	古文書講座	4			286	
	フィルム上映会	3			63	
	博物館実習	1			7	福島大学
	講師派遣等	6			398	国見町、棚倉町、いわき市、福島県立図書館、福島民報社（2回）
	友の会	7			83	
小計	27	14,819				
合計		2,125	16,249	5,661		

## (6) 福島県歴史資料館資料収蔵状況

(平成30年3月31日現在)

区 分	種 別	平成28年度	平成29年度		
		現在	受入	返却	合 計
行政文書資料	福島県庁文書 (冊)	36,936	0	0	36,936
	市町村文書 (冊)	11,940	0	0	11,940
	計 (冊)	48,876	0	0	48,876
古文書資料	諸家寄託文書 (点)	138,798	1	154	138,645
	諸家寄贈文書 (点)	4,034	0	0	4,034
	複写収集文書 (点)	3,465	0	0	3,465
	その他 (点)	13,565	0	0	13,565
	計 (点)	159,862	1	154	159,709
文献	寄贈文献 (点)	38,339	0	0	38,339
	寄託文献 (点)	3,871	0	0	3,871
	購入文献 (点)	2,553	0	0	2,553
	備品図書 (点)	173	0	0	173
	計 (点)	44,936	0	0	44,936
考古資料	寄託考古資料 (点)	3	0	0	3
	計 (点)	3	0	0	3
民俗資料	寄贈民俗資料 (点)	15	0	0	15
	寄託民俗資料 (点)	8	0	0	8
	計 (点)	23	0	0	23
フィルム	資料調査フィルム (点)	131	0	0	131
	寄贈フィルム (点)	40	0	0	40
	計 (点)	171	0	0	171
特別資料	堀切善次郎家資料 (点)	288	0	0	288
	佐藤健一家中世文書 (点)	5	0	0	5
	富田健吾家絵図 (点)	4	0	0	4
	計 (点)	297	0	0	297
合 計	(点)	254,168	1	154	254,015

## (7) 福島県歴史資料館事業実施状況

<展示>	実施期間	日数	人数
収蔵資料展「檜枝岐村文書の世界」	4/22～7/30	96	1,686
収蔵資料展「奥会津の古文書―長谷部家文書の魅力―」	9/9～12/24	104	2,080
収蔵資料展「新公開史料展」	H30/1/20～3/18	50	1,205
合計		250	4,971
ギャラリートーク	実施日	日数	人数
「檜枝岐村文書の世界」	4/29、5/27、6/24、 7/22	4	27
「奥会津の古文書―長谷部家文書の魅力―」	9/10、10/21、11/18、 12/16	4	43
「新公開史料展」	H30/1/27、2/24、3/17	3	62
合計		11	132

<古文書講座>	実施日	日数	人数
第1回古文書講座「檜枝岐村文書を読み解く」	8/19	1	80
第2回古文書講座「檜枝岐村文書を読み解く」	9/2	1	70
第3回古文書講座「檜枝岐村文書を読み解く」	9/16	1	68
第4回古文書講座「檜枝岐村文書を読み解く」	9/30	1	68
合計		4	286

<講師派遣>	実施日	日数	人数
「義経の腰掛松公園」再整備竣工記念式典ミニギャラリートーク	6/16	1	40
平成29年度いわき市内郷学講座	9/27	1	93
たなぐらのお宝文化財展歴史講座	10/1	1	60
戊辰戦争150年歴史講演会（相馬市）	H30/1/27	1	70
戊辰戦争150年歴史講演会（いわき市）	H30/3/10	1	95
合計		5	358

<講習会>	実施日	日数	人数
平成29年度地域史研究講習会	11/11	1	46
合計		1	46

<フィルム上映会>	実施日	日数	人数
第1回フィルム上映会「日本の伝統文化」	6/17	1	20
第2回フィルム上映会「日本の伝統文化」	8/19	1	20
第3回フィルム上映会「日本の伝統文化」	10/14	1	23
合計		3	63

<博物館実習>	実施期間	日数	人数
博物館実習(福島大学)	9/24～9/29	6	7
合計		6	7

<他機関との連携>	実施日	日数	人数
歴史資料館移動展「檜枝岐村文書の世界」（福島県立博物館）	9/23～12/10	68	7,783
歴史資料館移動展「檜枝岐村文書の世界」（福島県立図書館）	H30/1/5～2/12	29	1,172
歴史資料館移動展関連講座「檜枝岐村文書の魅力」（福島県立図書館）	H30/1/28	1	40
合計		98	8,995

<福島県歴史資料館友の会>	実施日	日数	人数
平成29年度総会、友の会講座5回、など	4/25、5/20、7/15、 10/14、12/16、H30/2/4	7	83
合計		7	83

公2-1 埋蔵文化財関係事業関係

(1) 埋蔵文化財調査

(ア) 遺跡分布調査事業

a 分布調査

No	事業名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	結果
1	会津縦貫南道路	下郷町 ～南会津町	34,000	11/20～30	推定地1遺跡確認
2	国道289号改良工事	鮫川村	11,000	12/4～8	周知2遺跡確認
合計			45,000		

b 試掘・確認調査

No	事業名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	結果
1	一般国道115号相馬福島道路	伊達市	62,000	4/19～11/30	4遺跡確認
		桑折町	9,600	5/19～11/10	要保存範囲無
2	県道吉間田滝根線	小野町	8,600	5/19～11/10	1遺跡確認
3	小名浜道路	いわき市	12,700	5/19～11/10	要保存範囲無
4	阿武隈川右岸築堤	郡山市	4,900	5/19～11/10	要保存範囲無
5	会津縦貫南道路	下郷町	20,900	5/19～11/10	1遺跡確認
6	国道349号改良工事	矢祭町	8,300	9/26～10/5	1遺跡確認
合計			127,000		

c 報告書刊行

No	事業名	報告書名	収録遺跡名	頁数
1	遺跡分布調査	福島県内遺跡分布調査報告24	試掘・表面調査19遺跡	37

(イ) 遺跡発掘調査事業

a 発掘調査事業

No	事業名	市町村	遺跡名	調査面積 (㎡)	調査期間	時代	主な検出遺構など
1	阿武隈川上流河川改修	須賀川市	高木	6,600	4/18～H30/1/19	弥生・古墳・奈良・平安・中世	竪穴住居74 掘立柱建物4 土坑79 溝5 畑跡29 土器埋設遺構3
		小計	1遺跡	6,600			
2	一般国道115号相馬福島道路	伊達市	上ノ台館(2次調査)	1,500	8/21～12/5	平安・中世・近世	竪穴住居1 掘立柱建物2 土坑6 柱列7 溝5 特殊遺構3
			中室内	2,700	10/10～12/22	古墳・中世・近世	竪穴住居8 掘立柱建物6 土坑26 堀・溝14 井戸2 特殊遺構3
		桑折町	日照田	2,800	4/17～28 5/29～8/24	縄文・平安・中世	掘立柱建物1 土坑13 溝1 特殊遺構3 流路跡1
			館ノ前	1,600	4/18～5/24 8/28～9/15	縄文・平安	土坑4 溝2 特殊遺構1
小計	4遺跡	8,600					
3	常磐自動車道路	檜葉町	大谷上ノ原	9,300	5/10～12/22	旧石器・縄文・平安	旧石器ブロック5 竪穴住居9 溝13 土坑53 特殊遺構5
		小計	1遺跡	9,300			
4	県道広野小高線	富岡町	毛萱館	5,000	9/4～12/22	弥生・平安	土塁2 堀3 柱穴57 竪穴住居9 土坑11 溝8 焼土遺構4
		小計	1遺跡	5,000			
合計		2市3町	7遺跡	29,500			

b 報告書刊行

No	事業名	報告書名	収録遺跡名	頁 数
1	会津縦貫南道路	会津縦貫南道路遺跡発掘調査報告2	瀧ノ入	98
2	一般国道115号相馬福島道路	一般国道115号相馬福島道路遺跡発掘調査報告6	沼ヶ入(2次)・上ノ台館跡(1次) 川原田・馬場・新宿	258
3	県道浪江鹿島線	県道浪江鹿島線関連遺跡発掘調査報告1	植松C	411
4	復興基盤総合整備(金沢地区)	農山村地域復興基盤総合整備関連遺跡調査報告1	谷地中(1・2次)	230
5	復興基盤総合整備(右田海老地区)	農山村地域復興基盤総合整備関連遺跡調査報告2	桶師屋	242
合計		5冊	9遺跡	1,239

(ウ) 県内市町村埋蔵文化財調査への技術協力事業

表面調査・試掘調査・発掘調査・その他										
No.	市町村名	遺跡名ほか	面積(m <sup>2</sup> )	時 期	期 間	業務内容	遺 構	遺 物	備 考	
1	会津	西会津町 横町館	3,710	中世・近世	6/5~9	発掘調査	堀・土坑・小穴	縄文土器・陶磁器・木製品・銭貨	町役場建設	
2		会津若松市	田中	1,830	弥生~古代	6/28~30 7/31~8/10	発掘調査	土坑・溝・小穴	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器	槻ノ木地区県営圃場整備
3			上高野村北ほか	8,000	古代・近世	10/16~27	確認調査	土坑・溝・小穴	土師器・須恵器	高野地区県営圃場整備
4		湯川村	下樽川西	6,530	奈良・平安	7/3~7	確認調査	溝	—	村営若者定住促進住宅建設
5		昭和村	中坪A	1,100	縄文	8/22 8/28~9/8 10/2~12	発掘調査	土坑・小穴	縄文土器・石器	国道401号改良工事
6				—		H30.1~3月	報告書作成	—	—	
7		三島町	大石田居平	1,000	縄文	9/11~21	確認調査	土坑・小穴	縄文土器・石器	地区集会所建設・携帯電話アンテナ設置
8			小和瀬遺跡隣接地	13,000	縄文	11/20~12/1	試掘調査	竪穴住居・土坑・小穴	縄文土器・石器・鉄滓	只見川河川整備
9	中通り	国道114号(山木屋工区)・国道349(大綱木2工区)改良工事区内	258,000	—	4/26~5/12	分布調査	—	縄文土器・石器	国道114・349号改良工事(ふくしま復興再生道路)	
10		川俣町	上台館	7,100	平安・中世	5/22~6/2 6/12~6/16	確認調査	竪穴住居・土坑	縄文土器・土師器・須恵器・石器	国道349号道路改良工事(大綱木1工区)
11			大木田 KM-B1 KM-B2	3,200	—	7/10~21	試掘調査	—	—	国道349号道路改良工事(大綱木1工区)
12		鮫川村	姿平西 姿平西製鉄	3,000	縄文・近世	11/6~10	確認調査	廃滓場・木炭窯	鉄滓	国道289号渡瀬バイパス整備工事
13		小野町	農業基盤整備浮金地区	814,000	—	3/5~8	分布調査	—	縄文土器・土師器・石器	浮金第二地区基盤整備事業

※市町村数及び延べ事業数

1市4町3村(会津:1市2町2村、中通り:2町1村) 延べ13事業

(2) 文化財センター整備業務

(ア) 出土品の管理

箇所	内容	数量
西木流C遺跡（会津若松市）など 木質遺物	劣化防止処理	1,843件
鍛冶屋遺跡（檜葉町）など 金属質遺物		3,708件
大猿田遺跡（いわき市）など その他の資料		514件
小計		6,065件
大森遺跡（相馬市）など	保存処理	202件
師山遺跡（新地町）など	点検	500件
合計		6,767件

(イ) 出土品の整理・搬送

箇所	内容	数量
阿賀川改修遺跡発掘調査 小田高原遺跡（喜多方市）など	出土遺物	938箱

(ウ) 文化財データ入力

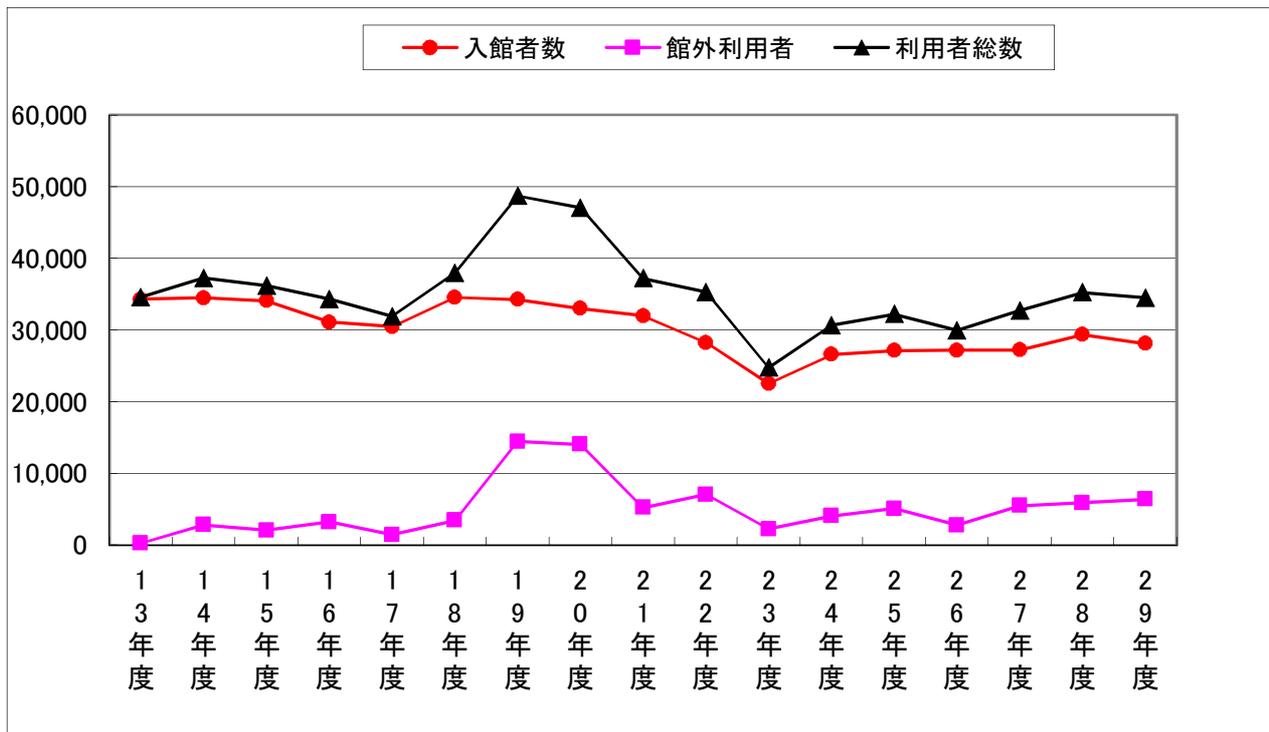
箇所	内容	数量
会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告書 桜町遺跡（湯川村）など	遺物データベース入力	4冊分 (入力数4,650)

公2-2 福島県文化財センター白河館関係事業関係

(1) 平成29年度利用者数

	年齢別属性		地域別属性		入館者数 ①	館外利用者 ※ ②	総利用者数 ①+②	前年度
	幼小中高	一般	県内	県外				
4月	1,127	1,249	2,204	172	2,376	259	2,635	2,526
5月	1,417	1,866	2,764	519	3,283	166	3,449	4,210
6月	1,598	1,378	2,481	495	2,976	1,607	4,583	4,221
7月	1,416	1,644	2,321	739	3,060	275	3,335	3,843
8月	1,178	1,723	1,952	949	2,901	1,563	4,464	2,702
9月	1,203	1,150	1,907	446	2,353	140	2,493	3,082
10月	662	1,252	1,659	255	1,914	2,205	4,119	2,547
11月	810	1,701	2,204	307	2,511	98	2,609	3,574
12月	291	1,110	1,309	92	1,401	18	1,419	3,010
30年1月	467	976	1,353	90	1,443	0	1,443	1,098
2月	961	1,587	2,391	157	2,548	0	2,548	2,419
3月	358	978	1,202	134	1,336	29	1,365	1,985
合計	11,488	16,614	23,747	4,355	28,102	6,360	34,462	35,217

(2) 利用者数の推移



※館外利用者とは、館外における文化財研修やおでかけまほろんなどの利用者及び館外での移動展示の観覧者数。

## (3) 資料の活用状況

	件数
文化財データベース公開数	384,918
文化財情報提供システム公開数	406
文化財データベースアクセス数	138,908
収蔵品館内閲覧	16
写真等掲載・転載	27
出土品貸出し	13
復元品・模型等貸出し	5

## (4) 常設展示室の展示替え内容

コーナー	主な展示品	展示替え(更新)回数
「暮らしのうつりかわり」	実物資料の展示更新	1
「話題の遺跡」	「戊辰戦争と考古学」展ほか	8
「みんなの研究ひろば」	「まほろん森の塾」活動成果など	6
「しらかわ歴史名場面」	白河市借宿廃寺出土埴仏ほか	5
「重要文化財公開」	猪苗代町・磐梯町法正尻遺跡出土の縄文土器ほか	5
「土器年代測定結果公開」	天栄村桑名邸遺跡出土の縄文土器ほか	6
「ふくしまの宝物」ほか	相馬市大森遺跡出土品ほか	6

## (5) 企画展の内容

名称	開催期間	人数(延べ)
収蔵資料展 「縄文土器の年代Ⅱ－縄文中期の世界－」後期展示	4/5～5/7	4,630
ふくしま復興展1 「編む・組む・削る－植物利用の技術史－」	6/24～8/27	6,817
指定文化財展 「はにわ行進曲」	9/30～11/26	4,391
ふくしま復興展2 「被災地の文化財 双葉高校史学部の歩み」	12/6～H30/3/18	5,455

## (6) 体験学習

館外学習	開催箇所	人数(延べ)
「おでかけまほろん」	35	892
「まほろん出前講座」	5	123
「まるごとまほろん」	6	3,517
募集型	回数・開催日	人数
「実技講座」	14回	延べ170
「まほろん森の塾」	6回	延べ23
「まほろんイベント」	6回	延べ4,461
・GWまほろんまつり	5/4～6	1,846
・野外展示と植物見学会	6/4	19
・まほろん夏まつり	7/30	625
・野外展示と植物見学会	10/1	29
・ありがとう50万人!まほろん大感謝祭	11/18・19	1,052
・まほろん冬まつり	H30/2/18	890
常時体験型	通年	延べ20,496

## (7) 講演会等

館長講演会 シリーズ『進展する考古学』	開催日	人数
第1回「考古学から見た日本人の特質」	5/20	30
第2回「ネアンデルタール人と花」	7/15	36
第3回「謎の古代文字、その後」	9/30	30
第4回「戦争遺跡－戦跡考古学の今－」	12/16	30
第5回「日本考古学の歩みと戦後の発掘調査」	H30/2/3	26
合計		152
文化財講演会・講座等	開催日	人数
講演会「縄文時代中期の世界について」	4/23	46
講演会「ふくしま発掘クロニクル」	6/24	25
講演会「植物利用の考古学」	7/16	27
講座「縄文土器の年代と地域性」	8/26	19
講演会「音の考古学」	10/8	30
講演会「戊辰戦争期の陣地遺構」	12/17	75
講演会「被災地と文化財－双葉高校史学部の軌跡－」	H30/1/28	36
講演会「被災地と文化財－ふるさとの記憶をつなぐ－」	H30/3/4	31
合計		289

## (8) 文化財研修等

テーマ	開催日	人数
基礎研修		
「考古資料研修」	4/29	7
「文化財保護・活用基礎研修」	5/13	4
「無形の文化財研修」・文化財ビデオ上映会	7/1	4
「教職員等発掘調査体験研修」	8/2～4	延べ 11
「地方史研修」	H30/2/24	24
合計		50
テーマ	開催日	人数
専門研修		
「文化財保護・活用専門研修」	9/9	14
「文化財と関連科学研修」	9/9	16
「文化財保護指導者研修会」	10/24・25	延べ 149
「考古学専門研修」	10/28	31
合計		210
特別研修（職員派遣研修）	随時	延べ 73